大球磨川

至誠　向学　鍛練
夢を持ち 自ら学ぶ たくましい 生徒の育成
八代市立第三中学校
学校だより第５号
令和３年８月２５日

「東京オリ・パラが開催されたからこそ」

校長　稲岡博信

中体連県大会に7競技、九州大会に4競技が出場し、八代三中の名を広めてくれました。東京五輪では、本校OBの園田啓悟選手をはじめ、中学生などの活躍もありコロナ禍の私たちに数々の感動を届けてくれました。開催されたからこそですが、医療従事者は、そうではなかったかもしれません。五輪中止の声があがった時、モスクワ五輪に日本選手団が派遣されなかったことを思い出しました。選手が涙ながらに参加を訴えている様子は、大学１年生の私の目に焼き付きました。同大学OBレスリングの高田選手や体操の具志堅選手の金メダルが有力視されていましたし、同大学生も名を連ねていましたので、大学に活気がありました。しかし、選手の思いは届かず、ソ連のアフガニスタン侵攻で対立していたアメリカに、日本が同調してボイコットしました。それを受けて高田選手の「これからの選手たちには二度とこんなことがないようにしてほしい・・・」とのコメントが、授業中に紹介されたことも覚えています。それから４１年、今回は政治的なことではないものの、日本にはボイコットから歩んできたスポーツの道があったから、また、奇しくも当時金メダルが期待された柔道の山下選手がJOCの会長に就いていたことも、オリンピックの夢を絶たれた当時の選手が各地の聖火ランナーを務めることにつながったと感じました。閉幕後、スケートボードやソフトボールなどの競技に子供の関心が高まっていることから、「何か心が動く瞬間が・・・」と言った柔道の大野選手の思いは子供たちにもしっかり届いているようです。パラリンピックが開幕しました。スポーツには、「行う、見る、支える、調べる」など、多様な関わり方があることを保健体育で学びます。子供たちには、医療従事者の献身的な「支え」が続いていること、また、パラ競技では、より多くのボランティアの「支え」があることにも目を向けて観戦してほしいと思います。

熊本県・九州中体連大会

前号でお知らせした、柔道、空手、陸上の県大会に引き続き、７月２４日（土）、２５日（日）に熊本県中体連大会が行われました。八代の代表として、どの生徒も精一杯頑張りました。三中生の結果は以下の通りです。

女子バレーボール：準優勝（九州大会出場）
水泳：藤崎充希（九州大会出場）
　　女子100m平泳ぎ3位
　　女子200m個人メドレー2位
卓球：男子団体　2回戦敗退
　　女子個人シングルス
　　花岡ならめ　ベスト8
バドミントン：女子団体　1回戦敗退
　　女子個人ダブルス
　　梅野心・松浦伶奈　2回戦敗退
　　男子個人ダブルス
　　岩田昊大・石井晶　1回戦敗退

また、8月上旬に行われた九州中体連大会の結果は以下の通りです。

女子バレーボール：予選グループ戦敗退
水泳：女子200m個人メドレー
　　藤崎充希　8位
陸上：共通女子２００ｍ
　　平本佳李亜アンジェラ　6位
柔道：女子40kg級
　　油谷愛華　1回戦敗退

資源回収ありがとうございました

７月２２日（木）に資源回収を行いました。気温もさほど上がらず、天候にも恵まれました。早朝より多くの保護者の方の協力のもと有意義な活動ができました。地域の方々からもアルミ缶や新聞紙などたくさん提供していただき、昨年よりもたくさん回収することができました。換金したお金は、今後の教育活動の中で大切に使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。今後も、三中の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

体育大会に向けて

夢休み中も、リーダーを中心に学校に来て、演舞の振り付けやダンスの構成、団画の制作などを頑張りました。体育大会は９月18日（土）に実施します。